出張！自然史博物館トークイベント

みんなで調べた大和川

－生き物が語る いま・昔・これから－

奈良県と大阪府を流れる大和川は、かつては「日本一汚い川」という不名誉な称号で語られることもありましたが、最近はそのような話も聞くことはありません。きれいになった(!?)大和川は、今どんな環境で、どんな生き物が暮らしているのでしょうか。自然史博物館と市民が調べた大和川の自然について、お話しいただきます。



日時

令和8(2026)年 **12月19日（土）**

10時30分から12時まで（開場 10時）

場所

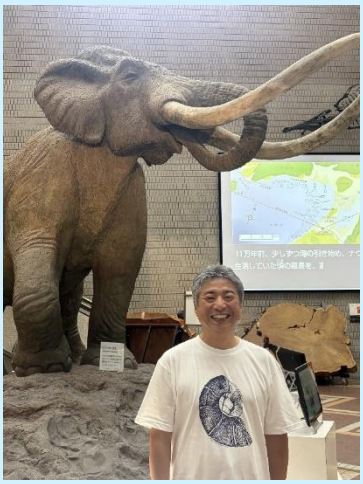
大阪市立中央図書館 地下1階
Hon＋α！(ほな！)スペース

講師 中条 武司さん(大阪市立自然史博物館学芸員)

定員 40名(当日先着順)　※入場無料

対象 どなたでも

共催 大阪市立自然史博物館



中条 武司(なかじょう たけし)さん
大阪市立自然史博物館研究主幹。専門は地質学、特に堆積学。なのだが、なぜか大和川で生き物の調査をしている。

主催・問合せ 大阪市立中央図書館
電話 06-6539-3326
〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2
https://www.oml.city.osaka.lg.jp/



Osaka Metro 千日前線・長堀鶴見緑地線西長堀駅7号出口すぐ

詳細はこちら



柏原市役所付近から見た大和川。このあたりから下流の大和川本流は、江戸時代に付け替えられた人工の流路。



大和川の支流、石川の源流部にある御光滝。大阪を流れる大和川ではイメージしにくい美しい滝。



ナヨクサフジ（マメ科）：4月から5月にかけて河川敷を彩る外来植物。この時期には河川敷が紫色に染まる。大和川水系のあちこちで見られるありふれた植物。



ケスジドロムシ：日本最大のヒメドロムシで、6mmもある。環境が良好な河川の中流域で、水に浸かった植物体にしがみついて暮らしている。今回の調査で大和川水系から新たに発見された。



大和川で採集されたアユ。かつて大和川が「日本一汚い」とされていたころにはほとんどアユはいなかったが、近年では多くのアユが大和川を遡上している。

関連企画

図書展示「川に沼る一出張！沼書房一」展

自然史博物館学芸員おすすめの川辺の生物や川に関する本をはじめ、大和川や川に関する本を展示します。

期間 令和8年12月18日（金）から令和9年1月20日（水）まで

場所 中央図書館地下1階Hon+α！（ほな！）スペース

出張！自然史博物館「みんなで調べた大和川」展

大阪市立自然史博物館では、2023年から100人を超える市民と一緒に、大和川の生き物や自然環境について調査をしてきました。その成果をご紹介します。

期間 令和8年12月18日（金）から令和9年1月20日（水）まで

場所 中央図書館1階エントランスギャラリー

※開催期間中の休館日は、12月28日～1月4日、1月7日です